

# 釧路南ロータリークラブ会報

第 27 回 例会 報告 2012.1.20 通算 1427 回

・点 鐘 長倉会長



皆さん、こんにちは。本日は、ロータリー理解推進月間ですが、担当北上情報委員長が、欠席ですので、私の方から簡単に情報提供をいたします。

(別紙参照)

報告ですが、韓国の新晋州RCに先週、カンボジアの学校建設の費用の一部として日本円で20万円を支払いいたしました。丁度、本日、イ会長からのコメントを釧路クラブの邵さんからいただきました。

「着金を確認できました。感謝申し上げます。建設中の写真を追ってお送りします。」との事です。ひと段落というところです。

・入会記念祝

太田 一男会員 H19. 1. 26 (5年目)

・誕生祝

高橋 康成会員 S19. 1. 22 (68歳)



◆会長よりロータリー理解推進月間に因んで



ハイチの中学校で、地元ロータリアンが寄贈した教科書を使って勉強する生徒たち。ロータリアンは2010-11年度、教育支援や食糧提供など、多くの奉仕プロジェクトに取り組みました。

Rotary International on Facebook

米国カリフォルニア州のロータリアンは昨年度、インドの第2980地区と協力してロータリー財団のグローバル補助金プロジェクトに取り組み、インドの生徒5000人に、コンピューター、ソフトウェア、実験器具、衛生施設等を提供しました。

「生徒たちの嬉しそうな顔を見るとこちらも嬉しくなりました」と話すのはプロジェクトを実施した米

・会長挨拶



国、アラモ・ロータリー・クラブのビシユワ・モアさん。「彼らのために何かが出来るといのは非常に喜ばしい事です。」2010-11年度、ロータリアンは各地で奉仕プロジェクトを実施し、会員基盤の増強に努め、地元ならではの奉仕活動に取り組んできました。また、ソーシャルネットワーキング・サイトの LinkedIn(リンクトイン)RI の公式ページでは、それぞれが誇りに思うクラブのプロジェクトを紹介し合いました。米国イリノイ州、シカゴ・クラブのジム・カニングハムさんは、支援団体「Feeding Children Worldwide」と手を組み、メキシコの孤児2,160人に食事を提供するクラブ・プロジェクトについて説明します。「米、大豆、ビタミン豊富な乾燥野菜などを集め、こうした食糧を配りやすいように仕分けしました」そのほかにも、次のようなクラブ・プロジェクトが実施されています。

シャーマン・オークス・サンセット・ロータリー・クラブ(米国カリフォルニア州)は毎年恒例のダンス・マラソンを実施し、ポリオ・プラスのための募金を集めました。「寄付金の3分の2近くはロータリー以外から集めることができました」と話すのはクラブ会員のメル・ポーウェルさん。クラブの Facebook ページでもこのプロジェクトが紹介されると、英国、スウェーデンのクラブから反響があり、今後はポリオのために世界中でこのダンス・マラソンが広まる事を願っています。ペーターソン・ロータリー・クラブ(米国ニュージャージー州)は、地区内で最も貧しい学校の支援に乗り出し、教材や生徒たちのためのコートを提供したほか、美術プロジェクトや菜園プロジェクトを実施しました。クラブ会員は本の読み聞かせを行うためにも学校を訪れています。「生徒たちの多くは低所得地域に住み、恵まれない環境で生活しています。彼らと長期的な関係を築き、少しでも恩恵をもたらせるよう願っています」

ゲルフ・トリウム・ロータリー・クラブ(カナダ、オタワ州)は、ウガンダの女子学校に教材を提供したほか、ポリオ・プラスのための募金活動を毎年実施しています。この募金活動では、ポリオ撲滅

のために125米ドルを寄付した人を対象に、夕食会とスコッチ・ウィスキーの試飲会が開かれました。セントジョージ・ロータリー・クラブ(米ユタ州)は、グアテマラに薪ストーブを設置しました。これは国際奉仕プロジェクトの一貫として行われたもので、これまでに75以上のストーブを提供しています。

## ・幹事報告



- \* 米山記念奨学会事務局よりお知らせ、米山奨学会への普通寄付金下期分の送金を、1月～2月末までの送金を。
- \* [タイ洪水被害へ]の義援金についての報告——1,087,145円の義援金が寄せられました。「ラタクル会代表前川昭一様」の口座に送金しました。
- \* 国際ロータリー第2500地区より、再度、バンコク国際大会の日本人親善朝食会についてのご案内が届いています。
- \* 白糠RCより月報を拝受しております。
- \* 稚内RCより創立40周年式典及び祝賀会のご案内が届いております。平成24年3月24日(土)稚内全日空ホテル、登録料10,000円。

## ・委員会報告

### 親睦委員会

- ・本日のニコニコ献金

太田 一男会員 入会記念祝として

高橋 康成会員 誕生祝として

## 出席委員会

会員 22 名 10 名出席 出席率 45.5%

### ・本日のプログラム

#### 「 会員卓話 」

##### ◆清水 哲会員



昭和 20 年代終戦直後の事とてまだ娯楽も何もない時代農家、漁師、復員した兵隊さんたちの長い冬の楽しみは百人一首がピカーでした。それも内地でやるような着物、振袖で向かい合うようなおとなしいものではありません。もともと百人一首は読み手が上の句から読むのを下の句だけ書いてある取り札を先に取ったほうが勝ちなのです。このルールを直接下の句を読んで下の句を取るようにしたのが下の句かるたです。このカルタの良さは、カルタの句を知らない人でもすぐゲームに参加できるという事です。なにしろ読んだ通りの札を取ればよいのですから、札の読み手の節は宮中の歌会始めの節でその人その人で多少変わります。内地の古典文化的要素を大いに持ったおしとやかなカルタゲームがここ北海道で室内軽スポーツに発展変化したのです。豆絞りの手ぬぐいの向こう鉢巻で、一枚札を取るごとに室内を端から端まで畳を叩いて走り回り、示威行為をします。これは精神を集中し気力を充実するための行為でしょうが、勇壮なもので北海道開拓時代からの伝統だそうです。当時から爆発的に流行し若い人達の唯一の遊び、交流の場だったそうです。それだけに札を早く取るための技術を色々磨いたようです。どこの誰々はいいい腕をしている、上手だ、

早い等々。カルタの上手な者が、区々のヒーローなのです。カルタ札は木製で内地の厚紙に印刷した取り札と全然異なります。木の札に難しい変体かな混じりの筆字で書かれております。畳の上直接ですと痛みますのと、不安定なので中央に黒いラインの引かれた厚手のキャンバスを敷いて、競技を始めます。私がカルタ大会に始めて参加したとき、「乙女の姿しばしとどめん」をたった一枚持たされ、「これ一枚だけだから、おとめ、の聲がしたらすぐ取れ」と言われ札を一枚睨んでました。でも相手に取られてしまいました。その声をする前に相手の手が札に行っているのです。てっきり読む札が判っていたのだと思っていましたが、大分後から教えてもらったのですが、読むときに前の句から次の句に移るときの瞬間に、余韻が出るのでそれでわかるのだ。そんな人とやって取れるわけありません。全然歯がたちません。それから 10 年くらい夢中でカルタをやりました。少しは取れるようになりましたが、最近は歳を取り感が鈍くなり声が掛からなくなりました。白糠高校のアルバム作成のとき高校の部活にカルタ部があったのでこれは、これはと部室まで行き「部活の写真撮りながらカルタをやろうやろう」と言って始めました。生徒が写真屋さん最初読み手やってというのでいいよ、いいよと返事してましたら、「下の句だけ読むんだよ、下の句ってここからここまでなんだよ」というんです。うんうんと聞いて始めました。生徒たちは紅白に分かれルール通り札を並べました。私は一枚目から読み上げましたところ「わからない、これじゃ取れない」というので普段どんなやり方なのだというと節を一切つけない読み方なのだというのです。これは小学校の「いろはカルタ」と同じでカルタの面白さはわからない。今まで誰が教えてたと聞くと誰も教えてくれない、見よう見まねでこれまでしてきたとの事でそれ以上のことは、話す元気も無く尻尾をまいて帰ってきました。だんだん時代が変わるにつけ、色々な娯楽が増え、百人一首をする人も少なくなり、カルタファンにとっては寂しい限りです。それにしても鎌倉時代の初期、藤原の定家なる和歌の大家がある武将の

